

地域の「やってみたい」を応援する情報誌

みんな



地域にひらかれた 高齢者施設を活用しよう

最近増えている高齢者施設。これらの施設がその一部を近隣住民に対して開放し、地域の一員として様々な取り組みを始めています。誰でも利用できるカフェや健康体操の教室など、高齢者施設が行っている地域とつながる事例をご紹介します。

高齢者施設を

みんなが集まる場に

育園も併設し、施設内のスペースを無償で地域住民に開放することを積極的に進めています。

デイサービス利用者以外にも、健康体操に通う地域の元気な高齢者、近隣から訪れる小中学生、そして保育園の園児まで、きわみには幅広い年齢のさまざまな立場の人が出入りしています。施設長の海沼信彦さんは「住民の皆さんにきわみを利用し、交流してほしいと思っています。訪れる理由はボランティアだったり、保育園に通ったり、健康体操であったりそれぞれ違いますが、出会いや交流が生まれる地域の拠点でありたいと思っています」と話します。

交流をかさね関わりをつくる

ボランティアとして訪れた四街道高校の生徒やインターシップの大学生にとって、きわみは社会を知り将来を考える場です。合唱を披露する

大日小学校の児童や職場体験に来る四街道西・北中学校の生徒には高齢者と交流する貴重な機会になっています。そして市民団体が定期的に開催している「DANCING貯筋クラブ」などに通う地元元気な高齢者にとっては、介護予防に加えて居場所としての役割を果たしています。

また敷地の一部を農園として「よっかいどう和棉ばたけ」という市民団体に貸し出し、より多様な交流の場を目指しています。

きわみが進める施設の開放は人と人とのつながりをつくり、地域の人間関係を密にしています。小学生と施設利用の高齢者が施設外で会った



赤ちゃんからお年寄りまで

大日にある「保育・介護複合施設きわみ」は高齢者向けの通所介護、いわゆるデイサービスの施設です。本来であれば利用者である高齢者のための施設ですが、ここでは保



四街道高校の生徒はボランティアや交流で何度も施設を訪れています



「誰でも気軽に足を運んでください」と話す施設長の海沼信彦さん

連絡先

保育・介護複合施設きわみ
電話：043-420-1133

集うことで 安心とつながりを



連絡先

オレンジカフェ「なごみ」

電話：043-312-3192

「オレンジカフェ」を知っていますか？オレンジカフェとは、認知症の人とその家族を支え、つながりをつくる場です。

平成27年の7月に始まったオレンジカフェ「なごみ」は、大日にあるデイサービス「なごみの家」で開催されています。毎月第2日曜日に開かれ、認知症の方やその家族はもちろん、介護している、いないに関わらず誰でも参加できます。

オレンジカフェの特徴は、認知症についての専門家が同席または関わりながら過ごしていることです。認知症という参加者共通の背景があることで、気軽におしゃべりができ、介護によるストレスや不安を解消できるのです。そして、専門的な観点からの意見を聞くことができ、認知症の理解を進める上での大切な役割を果たしています。

オレンジカフェ「なごみ」を立ち上げ運営している西ケイ子さんにお話を伺いました。「認知症とその家族への地域の理解はまだまだです。四街道市は持ち家率が高いため、街とともに高齢化が進みます。身近な

地域で気軽に寄れる範囲にオレンジカフェが増えるところうれしいですね」
私たちが伺った当日は、認知症の家族の方など5名が参加していました。参加者は介護の大変さを共有でき、気軽に話せる居場所があるおかげで何とか頑張れると言います。また介護に関わっていない人にとっても、経験者の話を聞いたり必要な知識を得ることができる、なくてはならない場だと話してくれました。

いつでも相談できる場所が 身近にあること

高齢者の孤立、居場所の不足など高齢化にともなう問題点を解決するために、高齢者施設を資源として活用することが進んでいます。公民館や自治会館の活用と同じように、地域の拠点として高齢者施設ができることはたくさんあるのです。

今号で紹介した以外にも、施設の一部にレストランを併設したり、専門知識のある職員が健康体操を行うサロンを開くなど、強みを生かし地域とつながる施設もあります。普段から足を運んでもらうことで、介護についての相談役として顔の見える関係づくりを進めています。

高齢者施設との関わりが増えることは、その地域の住民にとって安心が増えることとなります。地域の一員として、また身近な相談役として地域に開き始めた高齢者施設。近所にちょっとしたことでも聞きにいける場所がある地域は、安心して住みやすいといえるかもしれません。



認知症認定看護師としてもカフェに関わる西ケイ子さん

ピックアップ

団体運営の問題点を解決する 「ソシオ・マネジメント勉強会」



「ソシオ・マネジメント勉強会」は、団体を運営するための学びの場です。「目的・目標を絞る」「ニーズを確かめる」「会議で決める」「計画を立てる」など、組織に必要な12のチカラについてテキスト（※）を読み合い、感想・意見交換をします。学んだことは所属団体の活動に生かされています。

例えば、効果的な会議の進め方を学ぶ「会議で決めるチカラ」。会議の目的は、話し合うことではなく「決める」こと。会議には事前に議案を読み込み、自分の意見とその理由を明確にして臨みます。当日は、報告や反省に時間をかけるのではなく、じっくりと議案に対して討論します。会議後は「議事録」で情報を共有

します。会議で重要なのは「事前準備と議事録」なのです。

自分たちの会議に漠然とした疑問をもって参加者は「時間の使い方を変えることで、決めるべきことが決まり、会議の時間も短くなりました」と話しています。

今年度は、会計講座や分析ツールとしてのEXCEL講座など、より実践的な内容を予定しています。6月27日に第1回、8月を除く来年3月まで毎月第4水曜日に当センターで開催します。

※IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所] 発行『ソシオ・マネジメント vol.1』

お知らせ

みんなで地域づくりセンターでは、これから地域で何かしたい人、すでに活動している人をサポートするプログラムや講座を実施しています。

お申し込み、お問い合わせは
みんなで地域づくりセンターへ
お電話ください。

Tel. : 043-304-7065



みんなで地域づくり
キャラクター
くりんちゃん

地域づくりサロン

みんなでおしゃべりできる「居場所」を作ろう！（全3回）

ひとり住まいの高齢者や子育て中のお母さん、近所の人気が軽に集まっておしゃべりできる「居場所」をつくりませんか？まずは、実際に居場所を運営している団体にお話を聞きます。あなたの思いを形にしていく講座です。

日時：平成30年6月21日（木） 9:30-12:00

場所：四街道市文化センター 203号室

講師：宮本亜佳音さん（NPO法人わか）

金田洋子さん・田沼淳子さん（わかば街づくり研究会）

対象：居場所づくりに興味のある人

定員：30名程度

申込：みんなで地域づくりセンター

※今後は7月19日（木）、9月20日（木）を予定しています

編集後記

植物を育てるのが苦手な私が「多肉植物の寄せ植え」に挑戦中。寄せ植えは、小さな鉢の中にさまざまな種類の植物があつてこそ、見る人を楽しませてくれます。

地域でも同じように、高齢者施設で始まった取り組みと、いろいろな「ひと・もの・こと」が集まり、交わることで、より魅力的な地域になりそうです。身近な人に介護が必要にならないと、訪れることはないと思っていましたが、ぜひ、みなさんも地域にある高齢者施設を訪ねてみてください。

（チヨコ）

四街道市みんなで地域づくりセンターについて

四街道市みんなで地域づくりセンター
（四街道市シティセールス推進課分室）

開館日時：火-金 9:00-20:00 / 土 9:00-17:00

休館日：日・月・祝日・年末年始

所在地：四街道市大日396 四街道市文化センター1階

Tel. : 043-304-7065 Fax. : 043-422-7051

E-mail : info@minnade.org

Web : http://minnade.org/

みんなでNo.16

編集・発行：四街道市みんなで地域づくりセンター

発行日：平成30年6月1日 発行部数：4,000部

配架場所：市役所、公民館、図書館など センターのHPからもダウンロードできます。

表紙の写真：保育・介護複合施設きわみにて、きわみの職員と地域のみなさん

ホームページ



フェイスブック

